

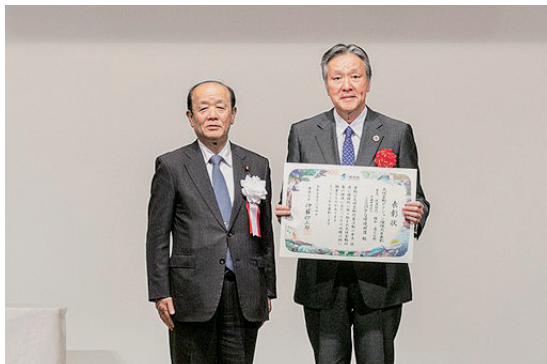
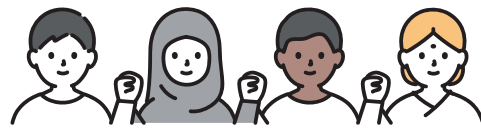
1 環境省主催「気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞しました

環境省では気候変動対策の一環として、顕著な功績のあった個人・団体を表彰する「気候変動アクション環境大臣表彰」を行っています。

この度、「市民のための環境公開講座およびインドネシアでのCSOラーニング制度」の取り組みが、「令和5年度気候変動アクション環境大臣表彰」において、普及・促進部門で受賞をしました。これは、30年以上にわたり、市民のための環境公開講座で、気候変動をはじめとする環境課題の理解促進、行動を促す講座を提供していること、インドネシアでのCSOラーニング制度の環境人材育成の取り組みによる国際貢献などが評価をされたものです。

12月4日に朝日新聞浜離宮ホールで表彰式が開催され、西澤理事長が登壇をし、八木環境副大臣から表彰状が授与されました。

今後も市民のための環境公開講座やインドネシアでのCSOラーニング制度などの取り組みにより、環境人材育成を通じ、脱炭素社会の実現、地球環境の保全に取り組んで参ります。



八木環境副大臣からの表彰状の授与



表彰式集合写真

2 2023年度「持続可能な社会づくり活動表彰」を受賞しました

この度、当財団が行う「CSOラーニング制度によるユース世代の環境人材育成の取り組み」が、公益社団法人環境生活文化機構主催の「持続可能な社会づくり活動表彰」で、「ESD活動賞」を受賞しました。

同表彰は、地域社会・国際社会への貢献、資源循環、環境教育及び生物多様性保全活動等、豊かな環境を引き継ぐため、環境、経済、社会が一体となった持続可能な社会づくりに資する活動を行う企業・団体を表彰するものです。中でも「ESD活動賞」は、持続可能な社会の担い手の育成に関する優れた環境教育活動を実施している企業または団体を表彰する賞です。「木を植える人を育てる」を理念として20年以上「CSOラーニング制度」に取り組んできた当財団にとっては、長年の実績を評価いただく大変嬉しい受賞となりました。

これまで制度を支えてくださったCSOの皆さまのお取り組みはもちろん、多くの参加者の皆さまが、修了後もそれぞれに環境問題に取り組み、ご活躍されている点が受賞の決め手となりました。関係者の皆さまに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

表彰式は11月27日にKKRホテル東京で開催され、他に受賞された4つの企業・団体とともに、財団の鈴木事務局長が同機構の

小林会長から表彰状を授与されました。また、活動紹介として、来場者に向けて瀬川課長が「CSOラーニング制度」の説明を行っています。

CSOラーニング制度では約20年振りに実施地区として福岡地区を追加するなど、新たな挑戦を続けています。これからも社会課題の解決に貢献する人材を一人でも多く輩出し、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、制度を通じた人材育成に取り組んで参ります。



3

インドネシア版CSOラーニング制度第5期の修了式を開催しました

環境財団ではCSOラーニング制度を海外展開した取組みとして、大学生・大学院生を現地のNGOにインターン派遣する、「NGO Learning Internship Program」をインドネシアのジャカルタ近郊で実施しています。10月24日、第5期生となる25名の修了式をLe Méridien Jakartaで開催しました。

式典には4年振りに財団が対面で参加し、西脇専務理事から修了生に修了証を授与しました。また、来賓としてインドネシア環境林業省のJo局長、Sampo Insurance IndonesiaのEric CEO、受入先NGOの代表者らに出席いただき、8か月の活動を終えた学生たちを盛大に祝いました。

2019年の開始以降、5期の活動を終え、制度の修了生は100名を越えました。来賓からの祝辞では、修了生ひとりひとりがインドネシアの未来を担うインフルエンサー、チェンジメーカーとして活躍することを期待するとともに、参加者同士の絆を大切に、大きな力に変えてほしいという声が多く聞かれました。これを受け、修了生からも「この制度で得た経験を糧に、はじめは小さくとも、社会に影響を与えるような取組みを積み重ねていきたい」という決意が述べられました。



西脇専務理事より修了証を授与

修了式の開催はインドネシア国内では64のメディアに取り上げられ、同国内での関心の高まりを感じています。2月から開始する第6期では新たに2つのNGOをパートナーとして迎え、インドネシアでの環境人材育成により一層貢献できるよう、取組みを継続して参ります。



修了レポートを片手に記念撮影



集合写真

4

2023年度市民のための環境公開講座を開催しました

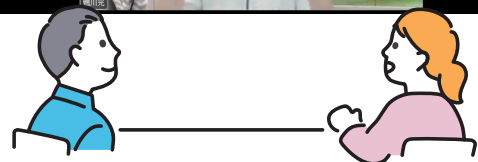
環境財団では市民の皆さまと共にSDGsをはじめとする地球上の諸問題を理解し、それぞれの立場で持続可能な未来に向けて具体的に行動することを目指し、2023年6月から11月まで、市民のための環境公開講座を開催しました。

31年目を迎えた今年度は、「Re-Style-新しい“ゆたかな”暮らしをつくる9つの視点-」をテーマに、一般社団法人エシカル協会代表理事の末吉里花さんとお笑い芸人（ココリコ）の田中直樹さんによるサステナブルトークイベントをオープニング特別講座として開催し、その後の通常講座9回を通じて、さまざまな切り口から新しい“ゆたかな”暮らしを皆さんと一緒に考えました。

はじめて参加をいただく方も多く、2023年度合計で7,800人を超える方々にご参加をいただきました。参加をした方からは、「自分事として捉えられたり、知らなかったことの発見があり楽しく学べた」「当日参加できなくても録画で何度も学べるので、学びが深まる」「どの講座も素晴らしく考えさせられ、行動を変えるきっかけになっている」などの声が寄せられました。

環境財団のホームページで2023年度講座内容のダイジェスト記事を提供しておりますので、ぜひご覧ください。

2024年度も多くの皆さまにご参加をいただき、地球環境問題への理解を深め、行動いただけるような講座運営を行って参ります。



講座のダイジェスト記事はこちら



※【連載】CSOラーニング制度派遣先インタビューはお休みいたします。